

平成30年度全国及び岡山県学力・学習状況調査の実施について

1 実施のねらい

児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育施策及び教育指導の成果と課題を検証・改善するとともに、結果に基づき個々の児童生徒が自らの学習等の改善に資する。

2 実施日

平成30年4月17日（火）

3 実施内容及び実施予定校数

調査名	対象学年	調査内容	実施予定校数
全国調査 (岡山市を含む。)	小学校6年	国語、算数、理科、質問紙調査	全国公立小学校：384校
	中学校3年	国語、数学、理科、質問紙調査	全国公立中学校：157校
県調査 (岡山市を除く。)	小学校3、4年	国語、算数	全公立小学校：297校
	小学校5年	国語、算数、質問紙調査	
	中学校1年	国語、数学、質問紙調査	全公立中学校：121校
	中学校2年	国語、数学、英語、質問紙調査	

※アンダーラインは、平成30年度（3年ごと）に実施する教科

※実施予定校数には、特別支援学校小学部・中学部を含む。

※全国調査は、上記に加え、希望する私立小学校・中学校、中等教育学校が参加

4 適正な実施に向けた取組

- 全国調査及び県調査の実施目的や結果の活用方法等の理解を図るため、教職員・児童生徒・保護者向けのチラシを作成・配付し、調査の重要性や留意点について周知している。
- 各学校において、教職員による調査マニュアルの熟読や複数の教員での確認、問題発生時の連絡等、校長の指示の下で組織的に実施すること、それぞれの調査結果を受け、速やかな児童生徒への返却と授業改善に取り組むこと等について、市町村教委へ通知している。

5 その他

- 国は、平成31年度実施の全国学力・学習状況調査問題を、現行のA問題（主として「知識」に関する問題）、B問題（主として「活用」に関する問題）形式から、新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育指導の改善・充実に資するよう、1単位時間（小学校45分、中学校50分）で知識と活用とを一体的に問う形式への変更を予定している。
- 平成31年度全国調査では、新たに英語（3年ごとに実施）を加え、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の1単位時間（50分）の調査とともに、「話すこと」の調査（15分）が実施される予定であり、平成30年度に予備調査が実施される。